

海外情報

No.7

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年3月29日
情報ソースの調査日	2020年5月2日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月3日
日本語タイトル	イタリアの高齢患者における COVID-19 のスパイラル化
情報ソース	The journal of nutrition, health & aging
情報のカテゴリー	総説論文
発信地域	イタリア
DOI	10.1007/s12603-020-1357-9
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32346677
要約	<p>フレイル高齢者は複数の併存症を有しており、COVID-19 に感染すると重症化し、後遺症が残る可能性が高い。</p> <p>老年医学は今後、以下の内容が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19 の経過に影響を与える薬剤の費用対効果に関する調査。 ・慢性疾患患者に対する早期警告。 ・隔離された患者の遠隔モニタリングシステム。 ・慢性疾患患者のための遠隔相談システム。 ・介護施設での標準化された安全対策。 ・選択された患者の心理的サポート。 ・複数の併存症を有する患者の様々な症状の評価と定義づけ。 ・年齢に応じた人工呼吸管理の定義づけ。 ・包括的な老年医学的評価でリスク因子を示す。 ・生存者における後遺症の評価。 ・生存者の生活様式の大きな変化や生活場所の悪化を防ぐ。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<p>医学的な提言が多いが、理学療法士も関われるポイントは多い。</p> <p>急性期から生活期まで、重症化予防や二次障害からの回復に理学療法士が果たす役割は大きい。</p>